I-O DATA

MANU000216

取　扱　説　明　書

4K対応43型ワイド液晶ディスプレイ
LCD-M4K432XDシリーズ

HDMI

ご注意：二人以上で用意・設置する

一人での用意・設置は、けが・本製品の故障の原因になります。

もくじ

表面
- 添付品を確認する
- 台座を取り付ける
- つなぐ
- 使う

裏面
- 使う（つづき）
- 困ったときには

添付品を確認する

- □ 台座（左右 各1個）
- □ 台座取付用ネジ（4本）
  ※ ネジに合ったドライバーをご用意ください。
- □ HDMI ケーブル
- □ DisplayPort ケーブル
- □ 電源コード
- □ リモコン・動作確認用電池



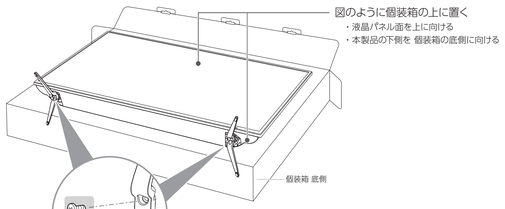
・電池をセットする際は、リモコンの裏ブタを開け、単4形乾電池を2本入れます。
・添付の電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池に交換してください。

- □ シール（2枚：本体の印字を隠せます）
- ☑ 取扱説明書（本書）
- □ 必ずお読みください

台座を取り付ける

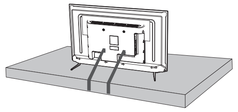
取り付け時・調節時のご注意

液晶パネル（表示面）が故障または破損する原因になります。
●本製品を床などに落とさない　●液晶パネルを傷つけない
●液晶パネルを手で押さえない



転倒対策をおすすめします

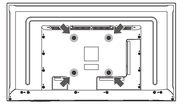
本製品は、大きな地震などの際には倒れる危険があります。
本製品転倒の際に大けがをするおそれがありますので、転倒防止グッズなどで転倒対策をされることをおすすめします。



ディスプレイスタンド（VESA）に取り付ける

●固定用ネジ：M6×10mm
（ディスプレイスタンドの金具の厚みにより異なる）
●本製品質量：約8.7Kg（台座除く）
●VESAマウントインターフェース：200mm×200mm
●締付けトルク：80～100N·cm（8～10kgf·cm）

※ドライバーを使ってネジを締付けてください。
スパナーなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。



つなぐ

1 パソコンや映像機器とつなぐ



映像出力の端子にケーブルをつなぐ
- HDMIケーブル
- DisplayPortケーブル
- アナログ



※ 動きが速いゲームや映像を 4K 表示で扱う場合、HDMI1 につないでください。

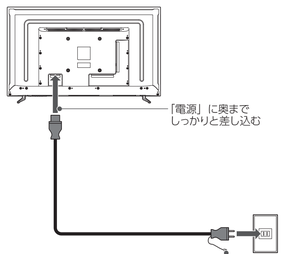
アナログにつないだ場合

オーディオケーブルを用意し、パソコンの音声出力と本製品の「音声入力」をつないでください。

映像入力端子と解像度

映像入力端子	最大解像度	
HDMI1	3840x2160	(60Hz)
HDMI2/3	3840x2160	(30Hz)
DisplayPort	3840x2160	(60Hz)
アナログ	2048x1152	(60Hz)

2 電源コンセントとつなぐ

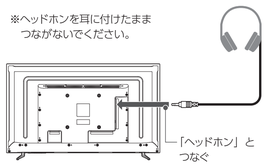


ご注意：アースについては以下を守る

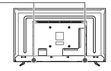
●必ずアースをつないでから、電源プラグをコンセントにつなぐ
●電源プラグを抜いてから、アースを外す
守らないと、発火・感電の原因になります。

3 必要なら、ヘッドホンとつなぐ

※ヘッドホンを耳に付けたままつながないでください。

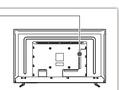


内部スピーカーの位置



USB

システム更新に使います。
通常は使いません。
※システム更新の方法については、「詳細ガイド」（本紙右上参照）をご覧ください。

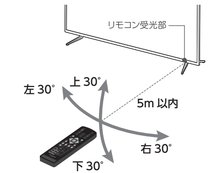


使う

本製品は、添付のリモコンを使って操作します。

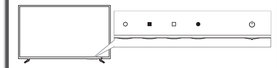
リモコンの操作範囲

リモコンの受光部は電源ランプのところにあります。
リモコンを受光部に向けて操作してください。



本体のボタンで操作する場合

各マークの下にあるボタンを押して操作してください。
設定をする場合は、○ ■ □ ● のボタンを押して画面の説明をご覧ください。



設定変更を防止する（メニューロック）

本体ボタンで設定変更されないようにできます。
操作　本体の ■ ボタンを 3 秒間押し続けます。
※解除する際も、同様に操作してください。

詳しくは『詳細ガイド』をご覧ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd-type_ax/

電源を入れる／切る（電源）

電源ランプについて



青点灯	電源入
オレンジ点灯	節電状態
消灯※	電源切

※ 設定によっては、電源入や節電状態でも消灯するようにできます。

表示する映像を切り換える（入力切換）

※ 子画面の映像は、「子画面」枠の「入力切換」で切り換えます。

指定時刻に電源を入／切する（タイマー）

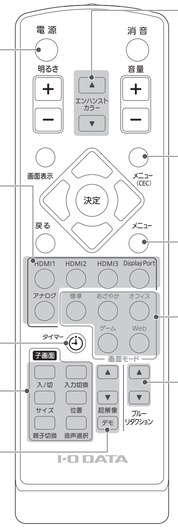
曜日ごとに電源入／切の時刻を設定できます。

子画面を使う（子画面）

通常の画面（親画面）とは別で、他の入力の映像を「子画面」として表示できます。
詳しくは、裏面の【子画面を使う】をご覧ください。

映像をくっきりと表示する（超解像）

映像の解像感を高め、映像の輪郭をくっきりと表示します。
解像度の低い動画を見るときなどに、映像のボケを低減します。
デモ：画面の半分だけに超解像処理した映像を表示します。
超解像の効果を確認するのに使います。



映像をより鮮やかに映し出す（エンハンストカラー）

映像にメリハリを付け、鮮やかに表現します。

HDMI 機器をリモコンで操作する（メニュー（CEC））

HDMI ケーブルでつないだ機器を、本製品のリモコンで操作することができます（CEC 機能）。

詳細な設定をする（メニュー）

メインメニューを開いて、様々な設定をします。

用途に応じた表示に切り換える（画面モード）

細かな設定をしなくても 画面モードを切り換えるだけで、見やすく美しい映像を表示することができます。

ブルーライトを低減する（ブルーリダクション）

パソコンで作業をする際に目が疲れる原因とされるブルーライトを低減させます。

使う（つづき）

子画面を使う

通常の画面（親画面）とは別で、他の入力の映像を「子画面」として表示できます。

PiPとPbP

PiP
親画面内に子画面を表示します。



PbP
親画面と子画面を並べて表示します。
※［サイズ］［位置］は機能しません。

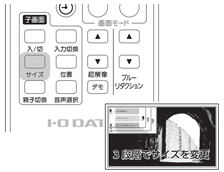


子画面を表示する

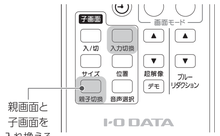
子画面の状態を切り換えます。
PiP→PbP→切→PiP……



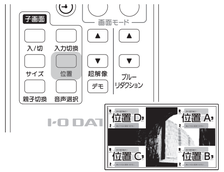
子画面のサイズを変更する（3段階）



子画面の映像を切り換える



子画面の位置を変更する（4か所）



音声を切り換える（親画面⇔子画面）



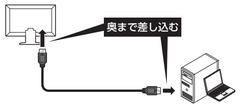
困ったときには

画面が表示されない

電源ランプを確認する



- 消灯
  - を押す
  - 奥まで差し込む
  - を押す
  - 電源ランプが消灯のままなら、修理をご依頼ください。
- オレンジ
  - 奥まで差し込む
  - を押す
  - 電源ランプが消灯のままなら、修理をご依頼ください。
- 青
  - つなぎ直す
    1. パソコン / 映像機器と本製品の間のケーブルを、奥までしっかりと差し込み直す



    2. 入力切換で、映像を表示する入力端子名を選ぶ
    3. 画面が表示されなければ、パソコン / 映像機器を再起動する

    ノートパソコンの場合
    ノートパソコンの取扱説明書で「外部モニターへ出力する設定」をご確認ください。

    改善しないなら…
  - シンク設定を変更する
    メインメニューの［本体動作］→［シンク設定］を変更してみてください。

    改善しないなら…
    修理をご依頼ください。

画面の色がおかしい

全体に黄色や青がかかっている

設定メニューでリセットをお試しください

改善しないなら…

- つなぎ直す
- シンク設定を変更する

「表示できる映像信号がありません」とメッセージが表示された

Windows の画面は表示されている

いいえ
- 解像度を設定する

はい
- 映像を調整する（アナログのみ）

縦長 / 横長になるぼやける

- 解像度を設定する

画面の表示がおかしい

揺れる・にじむ・チラつく・濃淡が付く・位置がずれる

- 映像を調整する（アナログのみ）

解像度を設定する

1



① デスクトップを右クリック

② ［ディスプレイ設定］をクリック
※Windows 8/7 では、［画面の解像度］をクリック後手順 3 へ

2



［ディスプレイの詳細設定］をクリック

3



① 3840×2160 に設定
※アナログの場合は、2048×1152 に設定
※お使いのパソコンによって対応する解像度が異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

② ［適用 (OK)］をクリック

画面例：Windows 10

映像を調整する（アナログのみ）

1 映像調整用のソフトウェアをダウンロードする
https://www.iodata.jp/r/4157

2 ダウンロードした「LCDTOOL.EXE」を開く



※本製品に表示されていない場合、［次のモニター］をクリック

3 メインメニューの［アナログ RGB］→［自動調整］を選択し、［決定］ボタンを押す
⇒自動で映像が調整されます。

解決しない場合
メインメニューで画面の位置やサイズなどを調整してください。

ドット抜けがある（赤や緑などの動かない点がある）

液晶パネルが 0.001 %未満の画素欠けや輝点を持つことによるもので故障ではありません。
修理交換対象になりませんので、ご了承ください。

音が出ない

- パソコンと HDMI や DisplayPort でつないだ場合
  Windows
  ① 通知領域のスピーカーアイコンを右クリック
  ② ［サウンド］をクリック
  ③ ［再生］タブをクリック
  ④ 本製品を選び、［規定値に設定］をクリック
  macOS
  ① システム環境設定の［サウンド］をクリック
  ② ［出力］タブをクリック
  ③ 本製品を選ぶ
- パソコンとアナログでつないだ場合
  パソコンとオーディオケーブルでつないでください。
- 機器側の音量を確認してください。
- 本製品の音量を確認してください。
- ヘッドホンをつないでいる場合、本製品のスピーカーから音は出ません。

残像が出る

- HDMIの場合、以下をお試しください。
  ・60Hz 表示に対応する HDMI 1 につなぐ
  ・メインメニューの［HDMI］→［HDMI1 EDID］を選び、［2.0］に設定する
- DisplayPort の場合、メインメニューの［DisplayPort］→［DP バージョン］を選び、［1.2］に設定してください。
- メインメニューの［表示］→［オーバードライブ］を有効に設定してみてください。
- つないだ機器が 60Hz の表示に対応しているかご確認ください。

映像が乱れる

- HDMIの場合、メインメニューの［HDMI］→［HDMI1 EDID］を選び、［1.4］に設定してください。
- DisplayPort の場合、メインメニューの［DisplayPort］→［DP バージョン］を選び、［1.1］に設定してください。

※設定変更することで 4K 表示時は 30Hz (30p) に制限されます。60Hz 表示が必要な映像では残像が発生する場合があります。

Windows でアイコンや文字の大きさを調節したい

こちらをご覧ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd-type_ax/

解決できなかった場合は …

1 WebのQ&Aもチェック

https://www.iodata.jp/support/qa/lcd/

2 サポートセンターにお問い合わせ

別紙「必ずお読みください」をご覧になり、サポートセンターにお問い合わせください。
※ 修理に関する内容も記載しております。

■VCCI 規格について
この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

■高調波電流規格について
高調波電流規格
JIS C 61000-3-2 適合品

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

［商標について］
●記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。
●HDMI、HDMI のロゴ、High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。